

『SSH科学技術体験セミナー（化学分野）』を開催しました

12月24（水）本校化学実験室に於いて、岩手大学理工学部化学・生命理工学科化学コース 教授 是永 敏伸 氏 および 本校卒業生でもある同大学大学院生のティーチングアシスタント（TA） 堺澤 雄斗 氏をお迎えして、「SSH科学技術体験セミナー（化学分野）」を開催しました。本セミナーは、化学分野の研究事例を学び、諸産業との位置づけを知ることによって化学への興味・関心を高めるとともに、実験・実習等を通して、化学的な視点や論理的思考力を養うことを目的として開催され、1・2年生 16名の生徒が参加しました。

前半は、「産業の根幹を握る化学」という演題でご講演頂き、半導体製品、有機ELディスプレイやリチウムイオン電池など、化学薬品や医薬品だけでなく身近にある様々な製品に応用されることで、化学が産業の中で重要な役割を果たしていることを学びました。後半は、ヨードホルム反応の実験を通して、化学的な現象が身近な科学技術に利用されていることを、実践的に学びました。普段、学校の授業では体験しにくい実験を行うことができました。また、本セミナー終了後には、3年生の希望者を対象に、是永先生による大学入試に関する相談会を実施して頂き、大学受験を間近に控え不安に感じている3年生の大きな励みになりました。

活動後の生徒の振り返りでは、「化学が身の回りのいろいろな製品に使われていることを知りました。『化学は木の根っこ』というフレーズが印象に残りました」「製薬分野で、人類にとって重要な発見をしたとしてノーベル賞を受賞した人もいて、とても夢のある学問だと思った」「実験では、1-プロパノールと2-プロパノールを区別する結果をもとに、構造式を考慮に入れながら考察できて、化学の楽しさを実感しました」等の所感が寄せられました。また、「私は農学部から製薬へ行くルートを考えていたが、化学から行くことで有機物質に詳しい人材としてより活躍できるのではないかと新たな気づきがあった」「今までは医学に興味があったが、化学分野も将来に見据えて、これから勉強していきたいと思う」「私は創薬研究に興味があったため、今回の講演から薬学部が全てではないということを改めて実感できました」等、考え方や視野が広がったという所感が寄せられ、進路選択について考える貴重な経験となりました。

○講演の様子

